

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンケア・キッズ（児童発達支援）				公表日	令和7年 3月 28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		利用人数等で活動する部屋を分けたりしています。法令を遵守したスペースを確保しております。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員又は保育士を1名以上を配置しております	配置数がたりていない 職員配置は適正ですが、部屋をわけると偏りがある時もあります。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	施設内はバリアフリー化しております。更に、安全面は配慮するようにしています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		衛生的な環境を保持するようにしています。また、共用部分は消毒をするようにしております。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		環境設定や個別での取り組み、情緒面や体力面でしんどい時に、個別で対応できる環境をつくっております。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		日々の振り返りをおこない、上手くいった事や反省点等を話っております。次にいかせるように職員間で共有しております。	その日に非常勤の職員と振りかえりをおこなえないことがあります。共有ノート等で情報共有するようにしております。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		頂いたご意見は業務改善に活かすよう努めております。	ご意見を職員間で共有し、改善の努力をするようにしています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	年に2回常勤職員は面談を行っており、意見を聞く機会をつくっております。	非常勤職員に関しては、今後聞き取りをおこなっていきます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	第三者評価はうけておりませんが、園や他事業所など関係機関からの訪問・見学の際にご意見を頂き、業務改善に活かすよう努めております。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	内部研修と外部による研修を職員に順次受けてもらっております。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		事業所玄関に、その月のプログラムの予定をはりだしています。 ホームページにて支援プログラムを公表しております。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		共通のアセスメント用紙を使用し、利用児童・保護者の支援の希望を確認して、支援計画を作成しております。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員の意見や思いを会議や日々の支援の中で聞き、支援計画にいかせるようにしております。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	職員は、個人情報の保護の下、個人ファイル内にいつでも確認・共有できるようにしております。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	共通のアセスメント用紙を使用し、様子を確認できるようにしております。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		それぞれの支援のねらいを含め、本児・ご家族の希望や様子を聞き取り、また、職員間での話し合いをおこない、作成しております。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	支援の職員中心に、プログラムを作成しております。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	季節を感じられる活動も入れたり、中心に動かしていくリーダーを交代していく等で、活動を固定化しないようにしています。				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		子どもに合わせた個別の取り組みと、みんなで活動する集団での取り組みをおこなっております。				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	常勤職員間では、支援内容やそれぞれの動き等を確認しております。	非常勤職員は、勤務時間がそれぞれで違う時もあり、適時の情報共有になります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	日々の振り返りの時間をとっています。 できた事、反省点等を共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の記録を残しております。モニタリング等の振り返りにも使用しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		モニタリングでの話し合い等で、お子様の情報共有やより良い支援についての話し合いをおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	会議等に参加したり、連携を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	各関係機関と連携をとれるようにしております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		就学の移行時に関する情報の共有は出来ておりません。機会があれば情報共有していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3			スーパーバイズや助言は受けれておりません。 利用児の情報提供を受けるようにしております。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	地域の公園等で他の子どもと関わる機会はあります。一緒に遊ぶ事もあります。	保育園等と連携はありますが、子ども同士の交流は出来ておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時・連絡帳・SNS・電話・面談等でご様子や支援の事・ニーズ等を共有するようにしております。 随時相談はお受けするようにしております。	
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		保護者会を含めてできておりません。 令和7年中に開催を予定しております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		初回面談時や都度、説明をおこなうようにしております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		ご利用児と保護者様どちらにも聞き取り・確認をおこなうようにしております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		説明後に、同意を得れるようにしております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		モニタリング時以外に、随時ご相談はお受けしております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6		できておりません。令和7年度中に保護者会の開催予定をしております。

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		ご都合の良い方法・時間帯で、相談をお受けするようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		SNSを利用して、活動の様子を中心に発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		職員には誓約書を書いてもらい、気を付けるようにしております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		お子様の障害特性等を見ながら分かりやすい方法でお伝えするようにしております。 ご家族様の都合の良い連絡方法や時間帯等、寄り添えるようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		できておりません。個人情報の保護と安全性の確保があり、体制が整っておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	マニュアルを用意して、共有しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	策定しております。また、定期的に訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	緊急時対応の方法も含めて、事前に確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		事前にお伺いしています。アレルギー・発作時対応には、同意書をいただき、職員間で情報共有するようにしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的に研修や訓練をおこなうようにしております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		お伝えするようにしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット事例がありましたら、書面にし、職員間で共有するようにしております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的な研修とセルフチェックをおこなうようにしております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		現在、身体拘束をしないといけない児童はおりませんが、研修はおこなっております。適切な対応をおこなっていきます。	